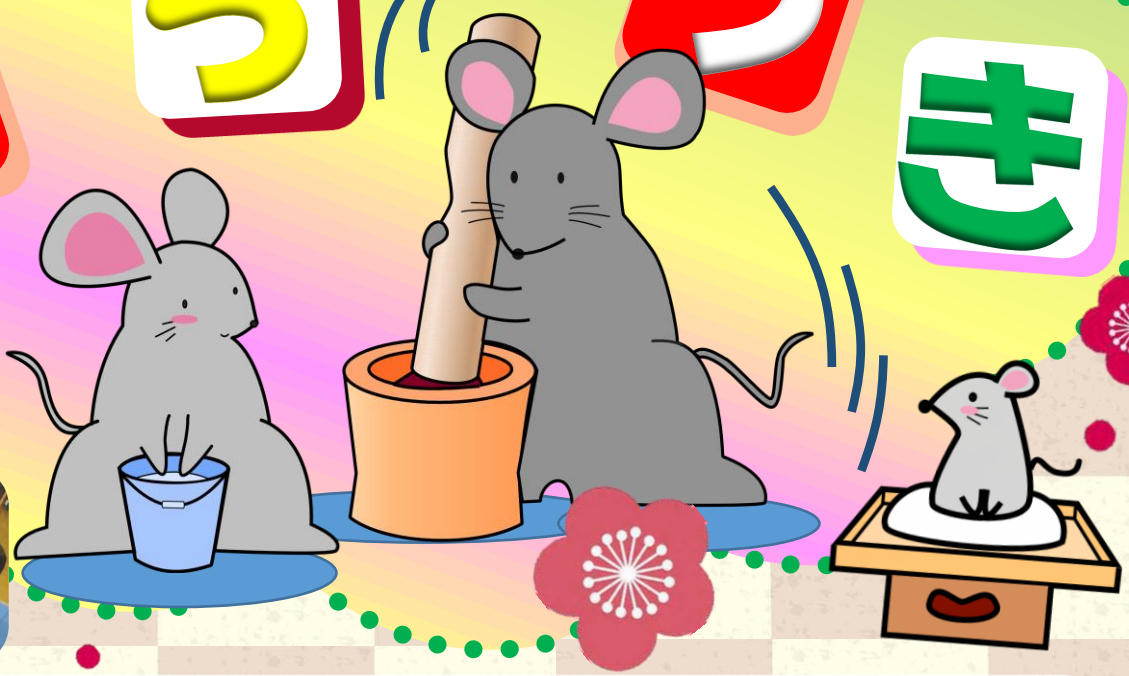
風土記の丘・曽根丘陵公園プレゼンツ

第5回

古代米で もちつき 大会

黒米の



１月１５日は小正月。かつては豊作を祈願して、農業や養蚕に関連したさまざまな行事が各地で行われていました。今でも繭玉をつくって「どんど焼き」で焼いて食べるのはそのころの名残りです。また、赤い色は魔除けの色。お祝いごとでお赤飯を食べるのも魔除けの意味が込められているとか。

今年は小正月行事のひとつとして、一足早く、風土記の丘で赤い色をした古代米のおもちをついて、無病息災や豊作を祈ってみませんか。めずらしい古代の「竪杵（たてぎね）」を使ったもちつき体験が出来ますよ！！

■ 日　　時　令和2年1月13日（月・祝）午前11時30分～午後1時ころ
※　11時40分ころから黒米もち・おしるこの試食配布

■ 場　　所　風土記の丘研修センター・エントランスホール

■ 参加方法　年齢不問、申込不要。どなたでも参加できます。
※おもちが無くなり次第終了（100名）。
※餅つき体験をした方優先で配布いたします。

■ 問い合わせ　**曽根丘陵公園・風土記の丘研修センター**
甲府市下向山町1271
電話：**055－266－5854（公園管理事務所：主催）**
指定管理者：富士観光開発・富士グリーンテックグループ
055－266－5286（風土記の丘研修センター：共催）
休館日：毎週月曜日・12月29日（日）～1月3日（金）

■ ホームページ　山梨県曽根丘陵公園　検索
山梨県立考古博物館